	丁行政評価 :	ン人ナム			万里	╸		シート(3	,,,,			י עו									
(1)	事務事	■業の名称・位置づけ	ŀ (Р					白色の								小を	見な:	がら入	カ)		
事務	事業コード		事業名	·				担当課		担当係名 所属長(課長等											
	4500	1. NH 64 85 A	<u> </u>	<i></i> ⁄	عالد		3	建設水道課	-	下水道コ	上務係	系		小野	耕一			田中	」博		
31522 下水道管渠維持			維持管	営埋 事3	莱		— <u>}</u>	次評価年月日	平成	28	年	6	月	30	日	連絡	先〔内	l線)	2	2167	
				会	会計区分			予算コード					事業	業名(歳	出予	算見積	書)				
事 務		ける位置づけ }・事業コード・事業名)		一般	V	特	別	5702	公共	下水道	事業										
				一般	✓	特	別	5732	特定理	環境保全	全公共	共下水	道事	 業							
事業実施				章	((コード選	択)	3章	安心	・安全で	快適	な地域	或を形	成する	まちづ	ぶくり					
の 根	第五次総分	合計画前期基本計画の		節	((コード選	:択)	1節	地域。	基盤整何	莆										
拠	施策体系	における位置づけ	項〔基	基本施策	((コード選	択)	5項	下水	道事業の	の推進	進									
位置づ			目(3	主な施策	((コード選	択)	2目	安定し	した下水	《処理	の推	進								
つけ	関連する記	計画等への位置づけ	V	第五次	次行財正	政改革大	に綱	口 3ヶ年実施	色計画		主要	業務	報告		その	の他					
	事務期間		(開	<mark>始)</mark> H1	年	F 度	~	(終了予定)		年度			ŀ	開始時	期不明	明	V	終	胡設定	定なし	
2)	事務事	事業の内容(目的と手	段を	把握し	ます	·) [Plar	12]													
① 対	象(誰のた	めに)·····この事務事業はと	どんな人	人(誰•何))を対象	象に行って	ています	⁻ か。													
大-	下水道を利用	用する町民																			
·	,																				
2E	的(意図)(どんな状態にしたいか)・・・・・	・この事	業を実施	をするこ	ことにより	、対象を	をどういう状態に	したいの	のですか	\ 0										
·水i	道を安全で多	安心して使用できる																			
③ 手	·段(事業内 <mark>:</mark>	容) (どうやって)・・・・・上記①	の対象	に対して	て、どの	ような手	段で②	の目的(意図)を	達成す	るか、実	[施し	た行政	攻活動	(対象)	こ対す	る働き	かけ)	を記入し	ます。	0	
1	管路点検																				
2	マンホール周辺]の舗装修繕 																			
3	管路修繕																				
4																					
(3) 活動指標の設定と推移・・・・・(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。〔Do1〕																					
-	活動指	旨標の設定と推移•••	•••((2)の(<u></u> ③უ.	ービス	の概	要(手段)	り指札	票を表			。〔	Do1							
	活動指	≦標の設定と推移・・・	((2)の(③サ ·	ービス	の概		り指棋		実統	責値			計画	画値			冬目標	票年度 年度	
		区		(2) の (③サ ·	ービス	の概	単(票 を表 26年	実統度	責値	年度	Do1 27年 (見辺	計画 手度 み)	画値		<mark>最終</mark> 27	T	年度 (見込み	
	指標名	区 管路内施設点検実施箇所数		(2) の (③サ ⋅	ービス	の概	基集集	立	26年	実統 度 37	責値 27	<mark>年度</mark> 11	27 ⁴ (見辺	計画手度		<mark>戊率</mark> 1.00		T	年度 (見込み	
	指標名説明	区 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数		(2) の (③サ ⋅	ービス	の概	単 (基 算出方法・計算 値設定の考	立	26年前年度	実統 :度 37 :実績	<mark>責値</mark> 27 からり	年度 11 引込む	27 ⁴ (見辺	計画 手度 込み) 11		1.00	27	T	年度 (見込み	
1	指標名 説明 指標名	区 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長		(2) の (③サ·	ービス	の概	単(基 算出方法・計算 値設定の考 m	立 章式・目標 え方等	26年 前年度 1,	実統 37 三実績 798	<mark>責値</mark> 27 からり	年度 11 引込む 2,156	27 ⁴ (見辺	計画 手度 み) 11 2,156	達成	1.00	27		年度(見込み	
1 2	指標名 説明 指標名 説明	区 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長 管路点検距離	分					単 (基 算出方法・計算 値設定の考 m 算出方法・計算 値設定の考	立 章式・目標 え方等 章式・目標 え方等	26年 前年度 1,	実統 度 37 実績 798	<mark>責値</mark> 27 から見	年度 11 引込む 2,156 路調3	27 ⁴ (見辺 *	計画 手度 み) 11 2,156	達成	1.00	27		年度 (見込み	
1) 2	指標名 説明 指標名 説明	区 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長	分					単 (基 算出方法・計算 値設定の考 m 算出方法・計算 値設定の考	立 章式・目標 え方等 章式・目標 え方等	26年 前年度 1,	実統 度 37 実績 798 実績	<mark>責値</mark> 27 から見 と、管	年度 11 引込む 2,156 路調3	27 ⁴ (見辺	計画 F度 み) 11 2,156 化共同	達成可研究所	1.00	27	<u> </u>	年度 (見込み 2,18	
1 2	指標名 説明 指標名 説明	区 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長 管路点検距離	分					単 (基 算出方法・計算 値設定の考 m 算出方法・計算 値設定の考	立 郭式・目標 え方 また。目標 え方等	26年 前年度 1, 前年度 で表し	実施 度 37 実績 798 実績 実績	<mark>責値</mark> 27 からり	年度 11 引込む 2,156 路調3	27 ⁴ (見之	計画 (表) (1) (2,156) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	可研究原	1.00 1.00 或果か	27 ら見込 ^す 最 <mark>級</mark>	冬目標	年度 (見込み 2,18 栗年度 年度	
1 2	指標名 説明 お	区 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長 管路点検距離 1標の設定と推移・・・	分					単 (基 算出方法・計算 値設定の考 か達成度を:	立 郭式・目標 え方 また。目標 え方等	26年 前年度 1,	実 度 37 実績 798 実績 実 度	<mark>責値</mark> 27 からり	年度 11 見込む 2,156 な調査 【 D	27 ⁴ (見込 至効率· 02]	計画 (下度 (み) 11 2,156 (化共同 (上去四 (上去四 () () () () () () () () () () () () () (可研究所	1.00 1.00 或果か	27	冬目標	年度 (見込み 2,15 要年度 度 見込み	
1 2 (4)	指標名 説明 お	区 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長 管路点検距離 1標の設定と推移・・・ 区	分 •••(分	(2) の (②目	標(意	図) の	単 (基 算出方法・計等値設定の考 を が ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	立	26年 前年度 1, 前年度 で表し 26年	実施 度 37 実績 実験 度 0	<mark>責値</mark> 27 からり	年度 11 見込む 2,156 路調3 (D	27 ⁴ (見辺 を効率・ 27 (見辺	計画 (表) (1) (2,156) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	可研究所	1.00 1.00 或果か	27 ら見込 ^す 最 <mark>級</mark>	冬目標	年度 (見込み 2,15 要年度 度 見込み	
① ② (4)	指標名 説明 指標名 成果 指標名 説明	区 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長 管路点検距離 1標の設定と推移・・・ 区 異常個所発見数 異常個所発見数を把握するこ	分 •••(分	(2) の (②目	標(意	図) の	単 (基本・計算を) 達 成度を: 計算値設定の 番	立	26年 前年度 1, 前年度 で表し 26年	実 度 37 実 ま ま 度 0 集 の 集	<mark>責値</mark> 27 からり	年度 11 記む 2,156 路調3 (D 年度 0 記む	27 ⁴ (見辺 を効率・ 27 (見辺	計画 (表) 11 2,156 化共同 (上去] (上] (上] (上] (上] (上] (上] (上] (上	可研究所	1.00 1.00	27 ら見込 ^す 最 <mark>級</mark>	冬目標	年度 (見込み 2,18 要年度 (見込み	
1 1	指標名 説標名 説標名 成果 指標名 説標名 指標名 説標名	医 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長 管路点検距離 を	分 •••(分 ことにより	(2)の (②目	標(意	図) の	単 (基 算 位 表 ・計等 値 設 定 の を す を す を を す を す を ま を ま か ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	立 (すえ (すえ) (すえ) (すえ) (すえ) (すえ) (すえ) (する) (す (す ()	26年 前年度 1, 前年度 で表し 26年	実度37実度0実798実度0集95	遺値 からり からり す。 からり	年度 11 記む 2,156 路調 年度 0 記む 100	27 ⁴ (見込 を効率・ 27 (見込	計画 (下度 (み) 11 2,156 (化共同 (上去四 (上去四 () () () () () () () () () () () () () (可研究所	1.00 1.00 或果か	27 ら見込 ^す 最 <mark>級</mark>	冬目標	年度 (見込み 2,18 要年度 (見込み	
① ② (4)	指標名 説明 指標名 成果 指標名 説明	区 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長 管路点検距離 1標の設定と推移・・・ 区 異常個所発見数 異常個所発見数を把握するこ	分 •••(分 ことにより	(2)の (②目	標(意	図) の	単 (基本・計算を) 達 成度を: 計算値設定の 番	立	26年 前年度 1, 前年度 で表し 1年度	実度37実度0実798実度0集95	遺値 からり からり す。 からり	年度 11 記む 2,156 路調 年度 0 記む 100	27 ⁴ (見込 を効率・ 27 (見込	計画 (表) 11 2,156 化共同 (上去] (上] (上] (上] (上] (上] (上] (上] (上	可研究所	1.00 1.00	27 ら見込 ^す 最 <mark>級</mark>	冬目標	年度 (見込み 1 2,15 要年度 (見込み	
① ② (4)	指標名	管路内施設点検実施箇所数点検したマンホールの数管路点検延長管路点検距離 を	分 ・・・(分 ことにより	(2)の(②目	標(意	図) の	単	立 (すえ) (すま) (す	26年 前年度 1, 前年 表し 26年 前年度	実 度 37 実 ま 実 度 0 集 95 績	<mark>責値</mark> 27 から から から り	年度 11 記 2,156 iB ID	27 ⁴ (見込 全効率 の 2 〕	計画 (下度) 11 2,156 化共同 (本) 100	可可值達成	1.00 北果か <mark> </mark>	27 ら見込す 27 27	※目標	年度 (見込み 2,1 要年度 見込み 1(
① ② (4) ① ②	指標名	医 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長 管路点検距離 を	分 ・・・(分 ことにより	(2)の(②目	標(意	図) の	単 基 算値設定のの 第 出方法定のの 第 出方法 での % 算 出方法・計算	立	26年 前年度 1, 前年 表し 26年 前年度	実 度 37 実 ま 実 度 0 集 95 績	<mark>責値</mark> 27 から から から り	年度 11 記 2,156 iB ID	27 ⁴ (見込 を効率・ 27 (見込	計画 (下度) 11 2,156 化共同 (本) 100	可研究的	1.00 1.00 以率 0.00 1.00	27 ら見込す 27 27	<u>く</u> による	年度 (見込み で 要年度 見 の 第二年度 で 見 の 第二章 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
① ② ① ② (5)	指規模的人物。在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以	医 管路内施設点検実施箇所数 点検したマンホールの数 管路点検延長 管路点検距離 を	分 ・・・(分 ことにより	(2)の(②目	標(意	図) の	単	立 (すえ) (すま) (す	26年 前年度 1, 前年 表し 26年 前年度	実 度 37 実 ま 実 度 0 集 95 績	<mark>責値</mark> 27 から から から り	年度 11 記 2,156 iB ID	27年 (見込 を効率 の 2 〕	計画 (下度) 11 2,156 (化 計画 年み 10 100 100	可	1.00 1.00	27 公見込む 最終 27 平成26年 決	に ま に ま に ま に ま に ま に は に は に に は に に に に に に に に に に に に に	年 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見	
① ② (4) ① ② (5)	指規模的人物。在一個工作的人物。在一個工作的人物。在一個工作的人物。在一個工作的人物。在一個工作的人物。在一個工作的人物。在一個工作的人物。在一個工作的人物。在一個工作的人物。在一個工作的人物。在一個工作的人物,可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以	管路内施設点検実施箇所数点検したマンホールの数管路点検延長管路点検距離 を	分 ・・・(分 ことにより	(2)の(②目	標(意	図) の	単	立 (すえ) (すま) (す	26年 前年度 1, 前年 表し 26年 前年度	実 度 37 実 ま 実 度 0 集 95 績	<mark>責値</mark> 27 から から から り	年度 11 記 2,156 iB ID	27年 (見込 を効率 の 2 〕	計画 (表) 11 (2,156) (化 計画 (本) 10 (本) 100 (本) 100 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	可	1.00 北果か 大率 0.00 1.00	27 · ら見込む 最新 27 公分計算 平決 7,	による 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	年度 年込 2,1 年 年込 度 度み 10 3 第 成 2,7 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
① ② (4) ① ② (5)	指競力 指說標明名	管路内施設点検実施箇所数点検したマンホールの数管路点検延長管路点検延長管路点検距離 区	分 ・・・(分 ことにより る箇所数	り、修繕記数 3]	②目	標(意	図)の	単 (基本) 計算 (基本) 计算 (基本) 并可能	立 (すえ) (すま) (す	26年 前年度 1, 前年 表し 26年 前年度	実 度 37 実 ま 実 度 0 集 95 績	<mark>責値</mark> 27 から から から り	年度 11 記 2,156 iB ID	27年 (見込 を効率 の 2 〕	計画 (下度) 11 2,156 (化 計画 年み 10 100 100	可	1.00 1.00	27 · ら見込む 最新 27 公分計算 平決 7,	に ま に ま に ま に ま に ま に は に は に に は に に に に に に に に に に に に に	年度 年込 2,1 年 年込 度 度み 10 3 第 成 2,7 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
① ② (4) ① ② (5)	指 問 相 説 標 明 名 目 語 説 標 明 名 目 名 日 名 日 名 日 名 日 名 日 名 日 名 日 る 日 る 日 る 日	管路内施設点検実施箇所数点検したマンホールの数管路点検延長管路点検延長管路点検距離 区 異常個所発見数を把握するご舗装補修実施率下水道管路舗装修繕を要する まず (コスト)の推移 で 大選 (コスト)の推移 (コスト)の対源(国庫支出金・県支出金の対源(国庫支出金・県支出金の対源(国庫支出金・県支出金の対策)の対策(国庫支出金・県支出金の対策)を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を	分 ・・・(分 ことにより る箇所数	り、修繕記数 3]	②目	標(意	図)の	単 (基本) 計算 (基本) 计算 (基本) 并可能	立 (すえ) (すま) (す	26年 前年度 1, 前年 表し 26年 前年度	実 度 37 実 ま 実 度 0 集 95 績	<mark>責値</mark> 27 から から から り	年度 11 記 2,156 iB ID	27年 (見込 を効率 の 2 〕	計画 (表) 11 (2,156) (化 計画 (本) 10 (本) 100 (本) 100 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	可 値 達	1.00 1.00 或果か び率 0.00 1.00 5年算 8,587 0	27 分計算 平決 7,	による は度 483 57.1 0	年 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見	
① ② (4) ① ② (5)	指説成 指説は 解明名 指説標明果 名明名 等前そ一 の般 な のの般	管路内施設点検実施箇所数点検したマンホールの数管路点検延長管路点検延長管路点検距離	分 ・・・(分 ことにより る箇所数	り、修繕記数 3]	②目	標(意	図)の	単 (基本) 計算 (基本) 计算 (基本) 并可能	立 (すえ) (すま) (す	26年 前年度 1, 前年 表し 26年 前年度	実 度 37 実 ま 実 度 0 集 95 績	<mark>責値</mark> 27 から から から り	年度 11 記 2,156 iB ID	27年 (見込 を効率 の 2 】 (見込	計画 (表) 11 (2,156) (化 計度) 10 (本) 100 (本) 100 (本) 100 (本) 100 (本) 100	可	1.00 1.00 或果か 交 0.00 1.00 1.00 5年度 8,587 0 8,587	27 分計算 平決 7,	による は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	年 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見 (見	
① ② (4) ① ② (5)	指説成 指説は 解明名明果 名明名明果 名明名明 事前そ一事 の般業	医 管路内施設点検実施箇所数点検したマンホールの数 管路点検延長管路点検距離	分 ・・・(分 ことにより る箇所数	り、修繕記数 3]	②目	標(意	図)の	単 (基本) 計算 (基本) 计算 (基本) 并可能	立 (すえ) (すま) (す	26年 前年度 1, 前年 表し 26年 前年度	実 度 37 実 ま 実 度 0 集 95 績	<mark>責値</mark> 27 から から から り	年度 11 記 2,156 iB ID	27年 (見込 を効率 の 2 】 (見込	計画 (表) 11 (2,156) (化 計画 (本) 10 (本) 100 (本) 100 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	可	1.00 1.00 或果か び率 0.00 1.00 5年算 8,587 0	27 分計算 平决 7, 6,	による は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	年度 年度 10 3 算 成 7,2 6,6 7,2 6,6	
① ② (4) ① ② (5)	指説成 指説は 解明名 指説標明果 名明名 等前そ一 の般 な のの般	医 管路内施設点検実施箇所数点検したマンホールの数 管路点検延長管路点検距離	分 ・・・(分 ことにより る箇所数	り、修繕記数 3]	②目	標(意	図)の	単 (基本) 計算 (基本) 计算 (基本) 并可能	立 (すえ) (すま) (す	26年 前年度 1, 前年 表し 26年 前年度	実 度 37 実 ま 実 度 0 集 95 績	<mark>責値</mark> 27 から から から り	年度 11 記 2,156 iB ID	27年 (見込 を効率 の 2 】 (見込	計画 (表) 11 (2,156) (化 計度) 10 (本) 100 (本) 100 (本) 100 (本) 100 (本) 100	可	1.00 1.00 或果か 交 0.00 1.00 1.00 5年度 8,587 0 8,587	27 分計算 平决 7, 6,	による は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	年度 (見込み 1 2,15 度 度 見 1 1 3 9 1 1 3 9 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

対前年比

町職員(正規職員)

非常勤等職員(臨時職員)

課長補佐

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。 (人件費計算式シート)

課長

係 長

H25 | H26 | H27 | H25 | H26 | H27

一般職員

0.00 0.00

延べ人数

0.00

0.08 0.10 0.10

0.00 0.00 0.00

99.4

643

年間人件費 年間人件費 年間人件費

647

95.5

614

(6)項目別評価〔Check〕

視点	項目別評価	判定	評価結果								
	1. 事業に対する町民のニーズに変化はあり	Α	A 増加傾向にある B 変化していない	住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください							
	ますか	A	C 減少傾向にある D かなり減少している	区などからの舗装補修要望							
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業	Α	A 町が主体となる必要がある	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要							
妥 当 性	を実施する必要があり ますか	A	C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	D 必要性がない							
性	3. 対象(受益者)の設	Α	A 対象は現在の設定が妥当である	Bの場合、その具体的な内容をお書きください							
	定は妥当ですか	A	B 対象の変更の余地がある								
	4. 目的(意図)の設定	Α	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している	Bの場合、その具体的な内容をお書きください							
	は妥当ですか	A	B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある ──►								
			A 期待したとおりの成果があった	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください							
有効性	5. 期待された成果は 得られましたか (成果指標の目標値へ の達成度)	В	B 概ね期待したとおりの成果があった								
性		Ь	C 期待したほどの成果が得られなかった								
			D 成果が少なく今後も向上する見込みがない								
	6. 連携可能な事務事 業はありますか (町以外の取り組みも		A すでに実施している	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください							
		С	B 今後は可能性がある								
交 九	含めて)		C 今後も可能性はない								
効 率 性			A 余地なし	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください							
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を	Α	B 当面は余地なし								
	ト(事業質・人件質)を 削減できますか	Λ	C 一部余地あり								
			D かなり余地あり								
			A 検討の余地なし	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください							
公 平 性	8. 受益者負担は適切	Α	B 当面検討の余地なし								
性	ですか	/ \	C 一部検討の余地あり								
			D かなり検討の余地あり								
			A すでに実施している	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください							
	9. 民間企業・住民団 体との協働の可能性は	С	B 可能 ———————————————————————————————————								
	ありますか	O	C 困難								
			D 検討中								

(7)改革改善〔Action〕

	平以音(Action)										
今後	の方向性(上記評価結果をもとに今往	後のこ	方向性を記入します。) □	を一つチェックし	してください	۱ ₀					
V	ア. 現状のまま継続する		イ. 見直しのうえで継続する		[]] ウ. 終期記	设定 ロ エ	. 廃止	口 才. 休	止		
				1							
	↓					Y					
〈今後	後の展開方針〉(イを選択した場合のは	み口	を一つチェックしてください)		(ウ	・エ・オを選択	した場合の	りみ記入し	、てくナ	ごさい)
	a 重点化する(コストを集中的に投)	入する	る等)		B	期(年度)					
	b やり方を改善する(実施主体や実	施の	手段を変える)				_				
	c 効率化を図る(コストを下げる)										
	d 縮小する(簡素化する)										
	e その他(別事務事業に統合する等)									
事業	の方向性の具体化										
改革	改善案 (誰が、何を、いつまでに、どうする	か(5	W1H)等を記入します。)			28年度予	算見積書へ	の反映	V	あり	
리송4	続き、管路調査最適化研究の成果をも	修繕が必	[反映内容]								
	断に、皆ら過程取過に明光の成果をで 箇所は、修繕工事を実施する。	多小百刀 : 火力	、 管路調査費、管路及び舗装修繕費								
) 同 に	居上 正月 (主教主業の総)		(価及び合終の方向性	について)							

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位	の施設	策の推進に貢献し	ていま	すか。 □をチェック
			A. 貢献度 大		D. 上位施策なし
下水道を継続的に安全・安心して利用するために必要な事業。 計画的な管路調査を実施し、保全に努める。		☑	B. 貢献度 中		
			C. 貢献度 小		

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

V	ア. 現状維持		イ. 見直しのうえで継続する		ウ. 終期設定		工. 廃止		才. 休止
---	---------	--	----------------	--	---------	--	-------	--	-------

<u> </u>	1		
	上記〈今後の展開方針〉	a∼e	を選択